

SEIWA®

D675

取扱説明書

マグホールドスマホ充電ホルダー DB吸盤

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。

※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
※本書に記載されている社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
※本書に記載されているイラストはイメージです。

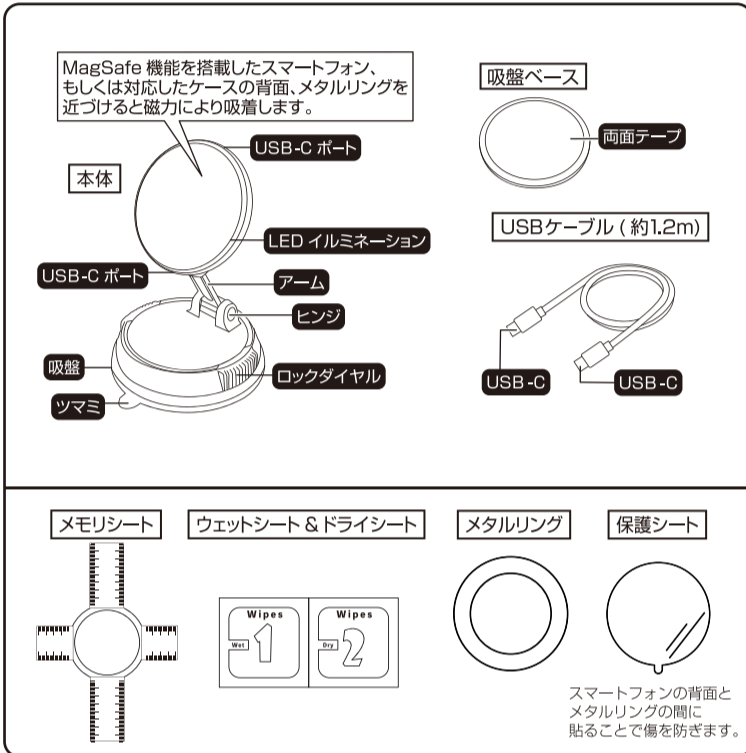
はじめに

…安全にご使用いただくために

- 本製品をご使用いただく際は、走行前に予め本体がしっかりとお車に取り付けられているかをご確認の上、お使い願います。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する充電機器も含めて当社では一切その責任を負いかねます。

セット内容

本製品の構成と名称、部品のはたらき



1 安全上の注意

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止 (してはいけないこと) を示します。

強制指示 (必ず実行していただくこと) を示します。

- 警告**
- 本製品の取り付け方法と取り付け場所に十分注意すること。
取り付け、ご使用が困難な時、または、運転操作、視界の妨げ、エアバッグ付近、エアバッグ作動の妨げになる場合は無理に取り付けたりしないでください。事故や故障、破損の原因となります。
 - USBケーブルのプラグ部をアクセサリソケットの中に入れない。
感電や発火のおそれがあります。
 - 火の中に投下したり、高温(70℃以上)の環境下に保管、放置しない。
お車のダッシュボード上やグローブボックス内は直射日光の下では70℃以上の高温となりますので、ダッシュボード上及びグローブボックス内への保管等はやめてください。万が一高熱になった場合や発煙、シールドがあった場合は、ただちにご使用を中止してください。
 - 濡らさない。また、濡れた手でさわらない。
本製品は非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。
 - 分解、改造、後加工をしない。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。これらが起因する携帯電話機のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。また、ケーブルを分解・切断しての直接配線などは絶対にやめてください。
 - 運転者は走行中の本体の操作・調整をしない。
運転者による携帯電話の操作は事故などの原因となります。また、本製品の操作、取り扱いも運転操作の妨げになりますのでやめてください。
接続操作などは、お車を安全な場所に駐車しておこなってください。
 - ケーブルを傷つけたり、きつく結んだり、乱暴に扱わない。
感電、発火、発熱、故障、断線、けがの原因となります。
 - 窓ガラス面には全て、取り付けない。
法令に違反します。
 - お車のダッシュボードにお取り付けの際は、付属の「吸盤ベース」を必ず使用すること。
携帯電話及び、本製品の破損や脱落の原因となります。
 - 角度調整する際はUSBケーブルを抜いて行うこと。
コネクタの破損及び、本体の破壊の原因となります。

注意

- ご使用前に、必ず携帯電話のデータのバックアップをすること。
本製品の使用による携帯電話内部及び接続されたメモリのデータ破損や消失に関する責任を負いかねます。
- 極端な低温(-20℃以下)での保管、放置はしない。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- 本製品に物をかけない。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
- クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤やアルコールは使用しない。
本製品が劣化し傷がつくおそれがあります。汚れた際は乾いた布で拭いてください。
- 破損した時には、お車のヒューズボックスにあるすべてのヒューズに破損がないかを確認すること。
車の機能(ヘッドライト、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。
- 本製品と充電される機器及びそのケースなどに磁気を帯びたり金属製のものを貼らない。
極端な発熱や発火による火傷や事故の原因となります。
- エンジンをかけた状態で使用すること。
車のバッテリー保護や本体ならびに接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるため、必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 本体のLED光源を直視しない。
目の健康をそとねるおそれがあります。
- 悪路を走行する場合は使用しない。
一般的な舗装路走行での使用を想定しています。悪路や段差の大きい場所では使用できません。
- 本製品と充電される機器との間に異物、金属(アルミ製ステッカーなど)を挟まない。
極端な発熱や発火による火傷や事故の原因となります。

マグネット無線充電に関するご注意

- 環境温度やスマートフォンの仕様により、満充電になる直前に充電が自動停止する場合があります。
- 充電完了前に充電が停止した場合、充電を再開するのに時間がかかる場合があります。
- 一定以上の温度になると、充電機能が一時停止したり、充電時間が長くなったりする場合がありますが異常ではありません。本体の温度が低下するまでお待ちください。
- 無線充電中は、スマートフォンのバイブレーター機能をOFFにし、動かさないでください。
スマートフォンが運転中の振動と相まって落下するおそれがあります。
- 付属のUSBケーブルのご使用を推奨致します。
- 充電する機器以外の無線充電機器どうしを30cm以内に近づけないでください。充電する機器を正しく検出できず、充電できない場合があります。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、テレビやラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。
また、ワンセグなどの受信状態が悪くなる場合があります。
- 無線充電時にスマートフォンのアプリケーションなどが作動すると、充電完了しない場合があります。
- 無線充電中はスマートフォンが温くなる場合がありますが、異常ではありません。
- 充電完了後でも、長時間放置している場合は、電池残量が減少している場合があります。

2 困ったときは…(トラブルシューティング)

- 故障かな?と思ったときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

症状や疑問点	確認していただくこと
本体の通電確認 LEDが点灯しない	DC/USB充電器、USBケーブル、本体がしっかりと接続されているか、またケーブルの断線、車のヒューズ切れもご確認ください。 エンジンが正常に掛かり、アクセサリソケットや各接続ポートに電気が流れているかも確認してください。
スマートフォンを近づけても磁力を感じない	本製品は「Qi(チー)」の無線充電機能と磁力で吸着する「MagSafe」機能を持ったスマートフォンに対応した商品です。Qi機能があってもMagSafe機能のないスマートフォンの場合は、MagSafeに対応したケースをスマートフォンに付けて使用するか、付属のメタルリングを貼ってご使用ください。
スマートフォンが充電されない。もしくは充電速度が遅い	装着前にLEDイルミネーションが点灯しているか確認してください。 本製品の充電能力を最大限に発揮するには、9V2A以上の電源が必要です。充電器の出力仕様をご確認ください(例:充電器の出力が定格5V2A未満では充電能力を最大限に発揮できません)。 スマートフォンの仕様により、充電中にスマートフォンの温度が上がると、充電の受け入れを休止することがあります。その場合は温度が下がると自動で充電を再開します。 本製品には温度が上昇すると充電を一時停止する機能があります。 自動で充電を再開しない場合、一旦取り外し再度装着してください。

3 本製品取り付け・取り外し方法

開封と内容物の確認

- 開封後、表面の「セット内容」を参考に内容物の確認をお願いします。

取り付けに関するご注意

- 必ず車を安全な場所に駐車してから、本製品の取り付けを行ってください。
- 本体は何度も取り付け・取り外しが可能ですが、「吸盤ベース」は貼り直しできません。
- 本製品の取り付け面は、曲面でない直径約8cmの貼り付け面が必要です。
※吸盤ベースの貼り直しは、脱落の原因となりますので絶対におやめください。
- あらかじめ本体取り付け場所の光沢材、汚れ、ゴミ等を中性洗剤等を用いてよく拭き取ってください。
- 10℃以下の低温時には十分な接着力が得られない場合がありますので、低温時を避けてお取り付けください。また、真夏の炎天下等取り付け場所が高温になっている場合も接着力が得られない場合があります。
- 運転操作の妨げやエアバッグ作動時に影響がないように取り付けてください。本製品の取り付け、ご使用が困難な場合は無理に取り付けしないでください。
- 法令に違反しますのでフロントガラスには取り付けしないでください。

取り付け位置について

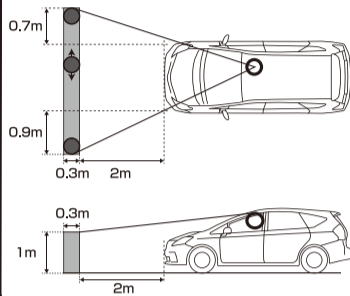
本書及び本製品のパッケージ記載の取扱説明に従わない場合など、誤ったご使用での事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図イラストのように運転者の視界や運転操作を妨げないように取り付けください。

道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席) 道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)
※詳細は、道路運送車両の保安基準を参照ください。 ※2025年11月調べ

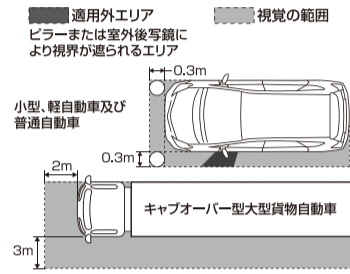
前方視界について

- 自動車の直前2mにある高さ1m直径0.3mの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。
※左ハンドル車は左右逆の解釈になります。



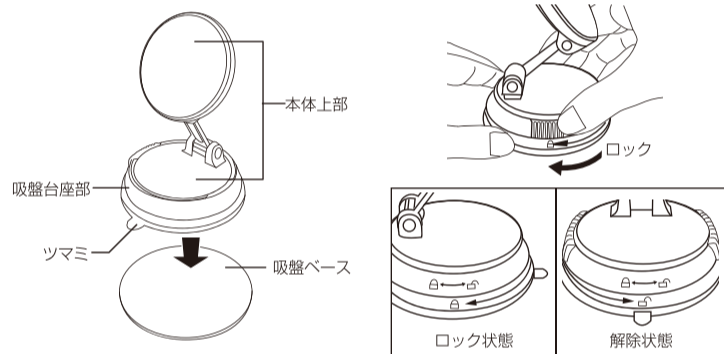
直前直左視界について

- 自動車の前面及び左側に接する高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること。
※左ハンドル車は左右逆の解釈になります。



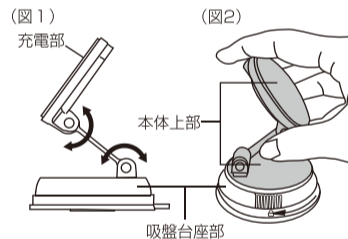
吸盤の取り付け・取り外し方法

- ① 吸盤ベース裏面の粘着テープのハクリ紙をはがしてしっかりと貼り付けてください。
※貼り付け後は十分な接着力を得るために24時間放置してから本体の取り付けを行ってください。
- ② 吸盤裏側の保護フィルムを剥がしてください。
- ③ 貼り付けた吸盤ベースの上に吸盤を合わせて吸着させてください。
- ④ 吸盤ベースの貼り付け直後に吸盤を吸着させないでください。吸盤ベースが剥がれるおそれがあります。
- ⑤ 片手で吸盤をしっかり押さえて、ダッシュボード面に対して下に押し付けながら、もう片方の手でロックダイヤルを時計回りに最後まで回してロックしてください。
- ⑥ 本体を軽く前後・左右に力を加えてしっかりと固定されているかをご確認ください。
- ⑦ 取り外す際は片手で吸盤を押さえてもう片方の手でロックダイヤルを反時計回りに回してロックを解除してください。吸盤と貼り付け場所が吸着していますので、吸盤のツマミ部分を手で持ちながら取り外してください。



位置の調整方法

- (1) 角度調整(図1)
片手で吸盤台座部を押さえるながら充電部を調整してください。
※角度調整をするときはロックダイヤル部を押さえないでください。
※USB-Cプラグを持って角度調整しないでください。
- (2) 回転(図2)
片手で吸盤台座部を押さえるながら、本体上部(グレーの部分)を回転させてください。
※アームや充電部だけを持って回転させないでください。
※USB-Cプラグを持って回転させないでください。

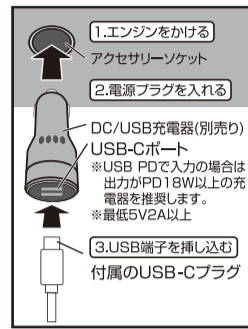


4 ご使用方法

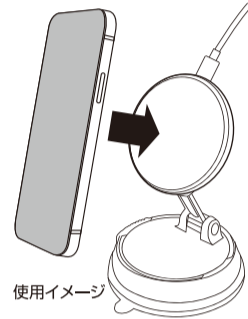
- 本製品には充電器は付属しておりません。本製品の充電能力を最大限に発揮するには、定格9V2A以上の出力を持った充電器を推奨します。PD18W出力のUSB-Cポート付きの充電器をご用意ください。本製品とPD18W以上の充電器を付属のUSB-Cケーブルでつないでご使用ください。<右図>

<ご注意>

- 車やカーオーディオ正面及び裏面に設置、内蔵されたUSBポートは5V0.5A~2.1A出力のものがほとんどです。こちらに接続しても通電、充電状態にはなりませんが、本製品の能力を最大限に発揮できず、スマートフォンを正常に無線充電できない場合があります。
- お車のキーを抜いても通電確認LEDが消えない車種(一部の車種及び外車)は、降車する際に必ず電源プラグをアクセサリソケットから抜いてください。
- 本体2箇所あるUSB-Cポートのどちらか取り回しの都合の良いUSB-CポートにUSBケーブルのプラグをまっすぐ奥まで挿してください。USBポート2箇所同時にUSB-Cプラグを挿すことは故障の原因になるのでお止めください。
- プラグを接続すると通電を開始し、本体正面のLEDイルミネーションが点灯します。
- スマートフォンが正しく置かれていない、スマートフォン以外の物が接している場合(異物検知)などでLEDが水色で点滅します。
- 付属のUSBケーブル以外を使用する場合、PD対応かをご確認の上、ご使用ください。
- 付属品以外のケーブルや別売りの電源プラグが原因と思われる不具合に対して当社は責任を負えません。
- 使用イメージの通りになっているか確認してください。
- <重要>
- 本製品とスマートフォンの間に厚みのある異物やクリップや金属製ステッカーなどが付かないことを確認してください。
- スマートフォンを縦か横にして本体に近づけてください。
- 近づけると磁力による吸着を感じるため、動かない位置にスマートフォンを合わせ、ゆっくりと手を離します。
- スマートフォンに充電が始まるとLEDイルミネーションが消えます。



近づけると磁力を感じる
落ちない位置に合わせる



使用イメージ

メタルリングの取り付け方法

- Qi(チー)ワイヤレス充電機能付きで、MagSafeに対応していないスマートフォンでご利用になる場合は、付属の透明保護シートを貼り、その上からメタルリングを貼ってご使用ください。※スマートフォン取扱説明書を確認し、無線充電コイルの位置を予め確認してから貼り付けてください。

- ① ウェットシートでスマートフォン、もしくはケースの裏面の汚れを拭き取り、ドライシートで水分を拭き取ってください。※メタルリングを貼る位置がずれると、正常に充電できなったり、発熱の原因になります。メタルリングの貼り付けは慎重に行ってください。
- ② メモリシートでメタルリングの貼り位置を決めてください。(上下と左右で同じ数字に合わせてください。)※一部のスマートフォンのコイル位置は上下非対称の場合がありますので、各機種に応じて適切な位置に貼ってください。※ケース背面にメタルリングを貼り付ける場合は、スマートフォンとケースの上下左右の中心の合致を確認してからメタルリングを貼り付けてください。
- ③ メモリシート上部をお手持ちのテープで固定してください。
- ④ メモリシートの下部を上へあげ、保護シートが円の中心になるように貼ってください。
- ⑤ メタルリングの剥離紙を剥がしてメタルリングを保護シートの中心になるように貼ってください。
- ⑥ メモリシートを外してください。

△<注意>位置合わせをせずに貼り付けて使用した場合、極端な発熱の原因となります。

